

令和3年度(2021年度)食品、添加物等の夏期一斉取締りの実施結果(概要)

1 施設に対する立入調査

(1)旧法・新法による営業許可施設等(表1)

調査・監視指導施設数は10,700施設であった。
違反発見施設数は815施設であった。
違反発見率は7.6%であった。

表1:許可を要する営業施設調査・監視指導結果

	許可施設	届出施設	他
調査・監視指導延べ施設数(件)	8,277	1,456	967
違反発見施設数(件)	760	1	54
違反発見率	9.2%	0.1%	5.6%

2 食品等の検査

(1)食品の収去試験(輸入品)(表2)

検査検体数は32検体であり、昨年度より7検体増加した。
違反が発見された検体はなかった。

表2:食品の収去試験結果(輸入品)

	R02	R03
検査検体数(検体)	25	32
違反件数(検体)	0	0
違反率	0.0%	0.0%

(2)食品の収去試験(国産品)(表3)

検査検体数は365検体であり、昨年度より347検体減少した。
違反発見検体数は2件である。
違反発見率は0.5%であった。

表3:食品の収去試験結果(国産品)

		R02	R03
検査検体数(検体)		712	365
違反件数(検体)		4	2
違反率		0.6%	0.5%
違反率の高い食品 及び違反発見率(%)	1位	アイスクリーム類・氷菓(5.1)	アイスクリーム類・氷菓(6.5)
	2位	-	-
	3位	-	-

(3)生食用鮮魚介類等の腸炎ビブリオ検査結果(表4)

検査検体数は77検体であり、昨年度より62検体減少した。
違反が発見された検体はなかった。

表4:生食用鮮魚介類等の腸炎ビブリオ検査結果

	R02	R03
検体数(検体)	139	77
規格基準違反検体数(検体)	0	0
規格基準違反率	0.0%	0.0%

(4)腸管出血性大腸菌汚染実態調査(表5)

検査検体数は119検体であり、昨年度より211検体減少した。
O157等が検出された検体はなかった。

表5:腸管出血性大腸菌調査結果

	R02	R03
検体数(検体)	330	119
検出検体数(検体)	0	0
検出率	0.0%	0.0%